京城日報　夕刊　(木)

一日道知事會議を開催
根本方針を闡明
各方面代表者にも協力要望

聖戦第二年、東洋史上に光輝燦然と輝く昭和聖代第十三年は、實に半島統治上に於ける施政方針の一大轉換期であり、朝鮮同胞が永遠に記念すべき年である。即ち南總督の大英斷による志願兵制度の制定、學制の改革等であるが、南總督は既報の通り一週間の東上により内鮮人の區別を撤廢する前記二大政策を斷行すると共に、今後に對する根本方針に就いて中央政府と協議し打合せを行ひ決意を固めて十九日夜歸任した、時恰も抗戰に備へて重大聲明を發し、[illegible]、半島の重大性は益々重加され、帝國大陸政策の據點となり半島二千三百萬大衆の結束は彌が上に強固なるを必要として來た、南總督は前記の如く、この半島統治上の一大轉換期に際し全鮮に今後に對する大方針とその中に流れる精神の徹底を呼びかけることゝなり、先づ來る廿二日午前九時から各道知事會議を開催して根本方針を闡明すると共に中樞院、在城實業家、朝鮮人有力者、朝鮮貴族、言論界の代表者を本府に招致して南總督今後の方針と決意を説明、協力を求めることゝなつた（寫眞は南總督）

南總督

各會同の時間決定す

別項の如く先般の御前會議に基く帝國政府の對支根本方針に對する重大聲明並に朝鮮人の志願兵制度實施及學制改革に基き歸任早々の南總督はこれによる内鮮一體の強化、長期戰態の體制に入る擧國一致の時難克服を全半島民によく認識せしめるため來る廿二日全鮮各方面代表者の參集を求めて積極的な協力を要望し、總督自から詳細なる説明を行ひ懇談を遂げることゝなり、左の如く會同日程を決定した

◇二十二日午前九時半　本府局長官以上外局課長以上（第一會議室）

◇午前十時　臨時各道知事會議（第一會議室）

◇午前十一時半　中樞院（第一會議室）參議その他朝鮮人有力者

◇午後一時半　財界及び實業家（第一會議室）

◇午後二時半　在城新聞通信社代表者（第二會議室）

各局課長から状況聽取

十九日夜歸任した南總督は廿日登廳直ちに各局課長から留守中の諸般の状況を聽取、廿二日の各道知事會議を初め官民を招致して今後に處する指針と斷乎たる決意を表明する會同に就き萬般の準備を命じた

南總督けふ軍司令官と懇談

要務を果し十九日歸任した南總督は、廿日午前各局長から事務報告を聽取した後、午前十一時軍司令部に小磯軍司令官を訪問、約卅分間に亘つて歸任の挨拶並に滯京中の要務、半島今後の時局對策に就て種々懇談十一時半辭去した

内外地防空協議會
十九日内相官邸で開催さる

【東京電話】内外地防空事務連絡協議會第一回會合は十九日午前十時より内相官邸に會合、内地側より内務省松村計畫局長以下陸海軍、軍令部參謀本部防空事務關係官外地側より對滿事務局、關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳、南洋廳等防空關係官出席先づ内地側より内地における防空事務の實施状態について説明、外地側よりも夫々の實施状況を詳述、次いで防空事務に關する内外地の連絡について種々打合せをなした後監視、統制その他詳細に防空事務について種々打合せをなしたが連絡協議會は年二、三回開催、内外地防空事務の連絡強化に努力することゝなつてゐる

佛政變一段落

【パリ十九日同盟】ショータン新内閣の閣僚は十九日午前何れも初登廳して新任者は前任者からの事務引繼きを受け、茲にフランスの政變は一段落を告げるに至つたが政界消息通方面では新内閣は急進社會黨、獨立社會黨、獨立左派等閣僚を送つた諸派は勿論、社會黨の不參加に氣をよくした中央諸派の支持を得て議會に於て多數を占めることが出來るだらうと觀測してゐる、社會黨も新内閣支持を約したが唯問題は共産黨の態度であるが、共産黨は恐らく議會の信任投票に當つては政府を支持するか若くは棄權するものと見られるが萬一反對投票をしても中央派の支持によつて十分之を相殺し得ると見られてゐる

政府並政黨各派對議會策を整ふ

【東京電話】第七十三議會休會明け議會を前にして政府は二十日午前九時より首相官邸に緊急地方長官會議を開き、長期戰爭の體制を強化しさきに發表したる對支聲明の主旨を全國民に徹底せしめ、擧國一致時難克服に一路邁進せんことを要望、更に午後一時半より臨時閣議を開き議會再開劈頭貴衆兩院において行はれる首相、外相の施政演説草稿を決定したる後國力充實四ケ年計畫案につき討議を重ね、現内閣の政策大綱を決定する一方民政、政友、社大、第一、東方、國盟の政黨各派も夫々黨大會或は議員總會を開き、事變下の重大議會に臨む陣容を整備して二十二日の議會再開を待つばかりとなつた

外相に挨拶

【東京電話】許世英大使は十九日午後二時十五分外務省を訪問歸國に際し挨拶の名刺を廣田外相へと託しただけで誰にも會はず歸つた

各地方長官に拜謁仰付けらる

【東京電話】畏くも　天皇陛下には、重大時局に際し地方長官の責務益々重大なるを思召され、二十日緊急地方長官會議に參集の各地方長官に對し特に拜謁仰付けられた、御多端なる御日常のうちに特に地方長官のために賜謁の時間を割かせ給ふ大御心に恐懼感激した近衛首相は、石黑北海道長官、館東京以下各府縣知事、藤江東京憲兵司令官、安倍警視總監等四十九名と共に午前九時半參内、西溜間に參進、天皇陛下には同十時一同御破禮遊ばされ御親しく列立拜謁を賜つた、拜謁を終つた各地方長官は非常時局に際し玉體愈々御健かに神々しき御英姿を拜し奉り感激一入深く、同三十分頃宮中を退下した

緊急地方長官會議
けふ緊張裡に開會さる
近衛首相から重要訓示

【東京電話】長期戰時體制に處する近衛内閣の決意を徹底闡明すべき緊急地方長官會議は、二十日午前九時五分より首相官邸において開會、政府側より近衛首相、末次内相他各閣僚、瀧企畫院總裁、風見書記官長、船田法制局長官、地方側より石黑北海道、館東京他各府縣知事（玉田香川病缺、稻垣[illegible]）藤江憲兵司令官、安倍警視總監、藤江憲兵司令官參集、先づ近衛首相より支那事變の新事態に即應すべき帝國政府の強硬決意を披瀝し、長期戰時體制に處すべき擧國一致の強化を強調して時局の再認識を要望せる重要訓示を行ひ、終つて同十五分近衛首相以下各地方長官、警視總監、憲兵司令官は打ち揃つて參内西溜間において　天皇陛下に拜謁御前を退下、同十時二十分内相官邸に參集、末次内相より銃後内政の強化、擧國一致、熱血一丸となつて時艱克服に邁進するやう一層の奮起を要望する訓示を行ひ次いで瀧企畫院總裁より現下の物資需給調節に關する重要訓示あり終つて國家總動員計畫をはじめ内務行政について腹藏なき意見の交換を遂げ正午會議を終了、一同首相官邸における近衛首相招待の午餐會に臨み、午後一時半一同打ち揃つて明治神宮、並に靖國神社に參拜して國運隆盛を祈願した、尚は午後三時より文相官邸における軍事扶助その他諸般の軍事援護事業を奏上するについて、各地方長官より地方別の實情を説明、今後の方策について種々打合せを行ひ午後六時より内相官邸における内相招待の晩餐會に臨んだ後、更に厚生省關係事項につき懇談、當日を以て會議を終了することになつた

國民の協力を要す！
地方長官會議に於ける近衛首相の訓示

【東京電話】今回の會議に諸君の御會同を願したのは今回の事變に處して我が帝國政府の遵道すべき第二段の道を明かにし、全國民がその目的に向つて一致協力東亞永遠の平和と國運の躍進に獻身すべき覺悟を更に新にするために諸君のより大なる努力を求めんとするにある

事變發生以來帝國は過去半歳に亘り膺懲の師を進める一方、南京占領後もなほ國民政府に對してその反省に最後の機會を與へ彼が從來の態度を一擲することを期待して今回に及んだのである。しかるに國民政府は帝の我が眞意を解せず、又ドイツ國の好意的斡旋等にも耳を藉さず最近益々聯[illegible]容共の態度を露骨にし、支那民衆を塗炭の苦に陷れ、國家を焦土と化する犧牲に頓着しながら敢へて長期抗戰の自棄的態度に出でつゝありよつて

帝國はかかる〔國〕政權並にその軍隊に對しては引續き攻擊を加へると共に、今後においては是の如き國民政府を相手とすることなく眞に帝國の立場を認識して充分之と手を握つて行ける新興支那政權の成立を期待しこれを育成發展せしめこれと提携して兩國の國交を調整し、更

各方面から注目される谷公使の視察結論
北京發歸朝の途につく

【北京十九日同盟】廣田外相の特命により中南支及び北支方面の現地視察の結果を齎し十九日午後四時三十分北京發歸朝の途についた谷公使の現地視察は我が國政府の南京政府對手とせずの聲明により今後〔の〕支那と我が國との關係が如何に展開するかの岐路に立つ重大時機の觀察である、所謂北京臨時政府並南京方面に擡頭しつゝある南方政權の如何なるか、即ち北京臨時政府を中心として發展するか一に今後の事態に如何に對處するかの點の必要ありとされてゐるので谷公使は此點について……い模樣で只新政權今後の發展に對しては物心兩方面より援助支持すべきを力説してゐる、即ち谷公使の中南支及び北支方面の視察結論は大要左の如きものと見られてゐる（寫眞は谷公使）

一、北支經濟開發

北支資源、産業開發に關しては臨時政府と協力し我國の技術を……

米編隊機無事ホノルル着

【ホノルル十九日同盟】アメリカ海軍の精鋭双發哨戒爆擊機十八機は十八日午前九時三十七分サンディエゴ根據地を出發、ホノルル〔海〕軍根據地に向け大編隊の無着陸飛行の壯途に上つたが、航程二千五百五十キロを一氣に翔破太平洋横斷十九日午前五時四十分（日本時間午後十時四十分）全機無事ホノルルに到着した、所要時間は二十時間三分である

蘇中央委員會肅清工作緩和

【モスコー十九日同盟】ソヴエート政府の所謂肅清工作は過酷に過ぎ弊に流く者漸く續出、これが最高會議で問題となつたのでソヴエート共産黨中央委員會では……

日支間の紛争は新段階に入る
ドイツ政府發表

【ベルリン十九日同盟特派員】わが外務當局は日支紛爭に對するドイツ政府の好意的和平斡旋が國民政府の不誠な態度により遂に水泡に歸し、帝國政府が去る十六日重大聲明を發表までの交渉經過につき發表したが、ドイツ政府もこれに呼應し十九日午前DNB通信社を通じ次の如く發表した

ドイツ國南京、東京兩駐劄大使は昨年十月下旬日支紛爭に關し支那政府において事變解決のためドイツ政府の協力を希望してゐる事實を確認、極東の平和の確保を念願するドイツ政府はこの結果直ちに目的貫徹のため日支兩友好國に對し斡旋の勞を取るに決したが、ドイツは事變に對し中立の態度を嚴守してゐる關係上、兩國間の意志の傳達を仲介するにとゞまらざるを得ない事情を十分認識して

今日まで兩國間に仲介の勞を取つて來たのである、然るに一月十六日の日本政府の發表により日支間の紛爭は新段階に入るに至つたことをドイツ政府は茲に聲明する

支那人の投石で邦人學童重傷す
新嘉坡で復不祥事件

【シンガポール十九日同盟】十九日午前十時二十分頃シンガポール日本人小學校二年生……も支那人が……の石を投……

東亞

の危局を……

風見書記官長は去る十六日政府の對支重大聲明に關してラヂオ放送をやつたがその評判があまりよくない、一友人が『口から……

本社の映畫が取持ち 戰線の伜激勵の旅へ

朔風の北支へ六十翁

決死の生々しい戰線の記錄を綴る本社の支那事變トーキーニユース映畫は火と燃える銃後半島の人々に事變の正しい認識を與へ銀幕を通じて愛國心を唆り、幾度となく銀幕對面感激談を生んでゐたがこれはまたゆくりなくも陣中で奮戰してゐる息子の勇姿を本社のニユース映畫から發見した一老〃が、矢も楯もたまらなくなつて老の身も顧みず、朔風荒ぶ北支第一線に〃伜激勵〃に向ひ砲煙彈雨の敵前で晴れの父子對面をしようといふ〃軍國の父〃……事變下に本社トーキーニユース映畫が取り持つた不滅の父性愛物語がある

〃軍國の父〃

ゐたぞ！竹四郎が

戰線慰問の旅から歸つた足を 再び返す村田翁(仁川商議)

『おい、君の息子が京城日報の支那事變トーキーニユース映畫に出てゐるぜ、見に來いよ』と、過日京城の友人から思ひ以上の知らせを受取つた仁川府山手町二府議、府議、仁川商議をかねた〃朝鮮金業株式會社々長村田学氏(六〇)は、京城に飛んで來て折柄明治座で上映中の本社ニユース映畫をみると『居た、居たッ』まさしく寢た間も忘れぬ愛息子の竹四郎少尉だ、映畫は山西戰で武勳を輝かした村田部隊が〇〇で明朗北支建設のため支那人を集めて日本語の教授中で、スクリーンには〃伜〃部隊長が支那人に日本語を教へて居り、また『村田隊本部』と大書した看板も大寫しに出て來た〃伜、でかした〃と躍り上つた老父の心は遠く戰場の會息村田部隊長の下に走つた

北支慰問視察の旅から歸つて來た許りの村田氏は本社のニユース映畫でみた合息少尉の勇姿に吸ひつけられ、夫人も大賛成でとうく敵前の父子對面を決心合息を激勵するため寒氣凜烈、しかも朔風荒ぶ血腥い北支戰線に旅立つことになつたのである

この天晴れな〃軍國の父〃は二十五日ころ仁川發一路〇〇に急行するはずで父子對面の日を樂しみに子供のやうに心をはずませ部隊への慰問品の用意やら眼まぐるしい多忙を極めてゐる

まだ氣は若いよ 支那兵が何だ

村田翁は日露の勇士

村田氏は岡山の人で、台灣生蕃討伐、日露大戰にも出征した老勇士、十七年間もミナト仁川に住む顔役、父が慰問に來るとも知らず奮戰中の竹四郎少尉は本紙にも手記を寄せた故長尾部隊長の部下として出征以來南苑、房山の攻撃をはじめ長城線、山岳地帶に轉戰し松里村、石家莊、娘子關、太原の戰鬪で殊勳を樹て、太原攻略戰では頭部に脚に名譽の戰傷を負つた荒武者、出征前は京城本町一朝鮮開拓會社に勤務してゐた

夫人節子さん(二二)は仁川の實家に歸り少尉が出征中節子ちゃん(二)が生れ一家は大喜び

それに一家はスッカリ京日ニユースが上映される度に全家族總見で村田氏の如きは京城に來れば明治座の本社ニユース映畫を見ないと氣がすまぬといふ熱心さ、村田氏は相好を崩しながら語る

『わしはもう鉄がとれぬが、戰場の勾だけは忘れられないな、息子をウンと激勵して來やうと思つてな、糖尿病でまた身體がハッきりしてないのぢやが、ナーニ精神はまだく若い者には負けんぞ、支那兵が出て來よつたら首をはねる位の元氣はあるさ、今時の若い者はなんでも古いくと馬鹿にしよるが、今度向ふに行つて日露大戰當時の戰術を伜に授けウンと尻を叩いて來るよ、アハヽヽヽ』

池田の甘栗

怪談のない戰場

時も時第一線から本社へ届いた 村田少尉の陣中手記

いま〇〇で頑敵を追ひまくりつゝ〃鬼少尉〃の勇名を謳はせてゐる村田竹四郎部隊長が特に本社に寄せた〇〇十二月十七日發の貴重な『陣中手記』が……、この〃軍國の父〃の感激の一齣を添へようとする二十日朝届いた(以下原文のまゝ)

御社いよく御隆盛の由誠に嬉しく存じます、御承知の通り九月中旬北平西方の房山攻擊以來三ヶ月長城線に沿ふ山岳地帶を約百四五十里轉戰、その間一地に休止することも全くなく戰に暮れはおろか主食の糧秣にさへ缺乏してゐましたが昨今漸く戰況も一段落を告げ當地に引きかへして守備隊となつてゐます

……☆……

當地は石家莊大原間の約中央に位し西太線より二里強入り込んだ都邑で例によつて城壁に圍まれた町です、此附近では先づ大きな都邑でせう、しかし(中略)家といふ家は悉く戶障子窓は破られ部屋には藁と馬糞と支那兵の衣服と血のついたぼろ布と焚火の跡と彈藥の空夾と以外には生きたものは何もゐません、野犬が辻々で斃死馬支那兵の死體、殺した豚、馬、犬の屍體をあさつて生きてゐるだけ、戰場風景の大なるものがあります

……☆……

こゝ一月半ほど人殺し、馬殺しはやりませんがまだく所々に死體がころがつてゐます、いつ見てもいゝ氣持のものではありません、しかし夏の間は十里風なまぐさし以上で死後十五六時間も經ては蛆がわく、皮膚が黒くむくれ上る、毛が脫ける、時々ブスとガスが洩れる、で迚も鼻もちがなりませんでしたが昨今のものは滿洲風の砂ほこりで粘土製の死體となり顔が白く唯りてゐるきりで一見死體はわかりません、食慾を減らす様な話は止めませう、ぼつくニーヤが歸つて來ます、各地に組織された治安維持會なるものが一人々々に良民證なるものを與へそれを胸につけて步いてゐます、ニーヤの半數は徴發した苦力で馬夫です、運中場と一緒に日本兵のゐる處には必ず群集してゐます

……☆……

必要に迫られ支那語をどうやら話します、兵隊が怪しげな支那語をあやつつてもそれで用事が足りるから面白いです面倒臭くなると日本語で怒鳴ります、奴らいつの間にか日本語を覺えてゐます戰場心理といふものは面白いものです(中略)

……☆……

妙なことに來たこゝの戰場には怪談が生れません、もう噂が立つ頃だとは思ひますが、腹の中にも怪談じみたものが一つあります、題して『敵陣中に諸經の聲を聞く、娘子關突明攻擊の前』この時ばかりは背中がぞっとしました、書き出せばきりがありません、近日中、京城日報に故長尾大尉の『戰線漫談』の續き を書いてやらうと考へてゐますから御笑下さい、こちらは案外暖かです、朝鮮あたりよりかへつて暖いかと思はれます、昨日御社寄贈の慰問品少々的頂きました、悪魔者が早く手に入りました、久しぶりに寝床を暖かへてシラミに邪魔されない眠りを享樂できたといふわけです、厚く御禮申しあげます

……☆……

これから部隊日直將校の勤務に出かけます支那の女郎がぽつぽつ入りこんで來ましたのでそれの取締りが厄介です、兵用のクツ、防寒外套に防寒手袋、拳銃を擊發裝置にして兵隊を二名護衛につれてそして營發の口々に跨つて(但し奴隷小で足が地につきさうです)大に乘つたやうで恰好ではありません 皆様によろしく

村田 少尉

國境を警備する 警察官慰問

伊藤警務課長が出發

零下四十度に及ぶ酷寒と戰ひながら我が半島の國境を護る警察官の勞苦を慰問するため、來る廿三日から二週間の豫定で伊藤警務課長が平北道内國境を慰問することになつた尙この際各方面より寄せられた慰問金に局長の酒肴料を夫々各警察駐在所に贈ることゝなつた

映畫の結ぶ父子

【上】陣中に於ける中列右端が村田少尉で、中央腕組みせる巨漢は故長尾大尉【下】村田少尉の父君学氏と長女範子さんを抱く節子夫人

帝都六萬の同胞 我もと御奉公へ

感激の祝賀會も計畫

【東京支社特電】半島同胞多年の翹望たる志願兵制度實施に在京六萬の同胞は喜びに勇え早くも警視廳内鮮課には連日十數名の問ひ合せがあり、十八日には深川區森下町二の八庄司方田タク運轉手張子善君(二一)(慶南蔚山邑出身)を始め數名の志願兵希望者が現はれ係官を感激させてゐる、張君は語る

『吾々半島同胞は宏大無邊の聖恩に感泣してゐます、支那事變が勃發するや軍夫にでもと志願ひしましたがまだ時期でないとさとされ今日の來る日を待つてゐました、これで晴々しました』

私達同胞は皆喜んで志願するでせう

なほ築地本願寺内朝鮮佛教協會では廿二日同本願寺で盛大な祝賀會を擧行、東京府協和會協風會でも近く管下數千名の會員を動員盛大な祝賀會を催すべく目下計畫中である

今度は血書で志願

南總督に烈々の衷情を訴へ 志願兵採擇を懇願

朝鮮志願兵制度が一度び發表さるや半島同胞の血を沸かし者もくと當局に殺到してゐるが、廿日朝南總督へ次のやうな血書が送られて來たので總督は直ちに富田陸軍御用掛に廻附して調査させることゝなつた(以下原文のまゝ)

志願狀

大日本帝國萬歲

私は朝鮮に生れたる一日本人にしてその愛國心は何者にも劣らざることを確信す、今回志願兵として採擇し下され度衷心よりお願ひ申し上げる次第なり

志願兵希望者

京城觀底町四六ノ二九四

尹哲模

右血書す

南總督閣下

實は旅行費使込み

心中未遂の事務員 龍中の被害額二千餘圓

【既報】去る十三日の白晝京城新町遊廓玉の江で同樓多賀丸こと本田はる子(二三)と情死を圖り女は死だが自分だけ生き殘つた龍山中學校事務員漢江通大理アパート止宿小林易次郎(二七)は切つた右手の動脈も癒えて、本町署に留置され嚴重取調べ中であるが新婚早々の小林が昔の馴染み娼妓と情死を圖つた原因は、意外にも獨身時代遊興費に窮しそ生徒の旅行積立金その他校金を費消したことが判明小林が自供してゐる額だけでも二千六百餘圓に上り取調べの進展により事件は擴大費消額も三千圓を突破するものとみられ、連日學校關係者や玉の江の主人、仲居が本町署に呼び出され證人訊問を受け學校當局の責任問題にまで波及せんとするに至つた

廿日はちようど死んだ情婦多賀丸の初七日で小林は冷い留置場で合意とは云へ自らの手で殺した女の幻に惱まされてゐるなほ情死の前女は最後の薄化粧をし新しい腰卷にかへ、男にも自分の手でこしらへた越中褌をさせるなど落ちついたものであつた

誠に申譯ない

高木龍中校長談

小林の公金使ひ込みの疑ひが十分となつて來ましたので目下檢査中ですが、監督不行屆の點は誠に申譯ない次第だと恐縮してをります

京城工業の秀才 謎の服毒自殺

女給の姉への心遣ひか

京城黃金町二丁目水の女給早苗こと五問岩しずえさん(二〇)が二十日午前一時ごろ明治町一ノ三七の自宅に歸り何時ものやうに『只今』と懐しく待つてゐる弟の京城工業學校二年生庄吉君(一〇)に聲をかけたが返事がないので、不審に思ひながら部屋に入ると、布團の中でうつぶせとなり苦悶してゐるので驚いて永樂町佐藤病院に擔ぎ込んだが午前六時絕命した

本町署で檢屍の結果睡眠藥を多量に嚥み自殺を圖つたものと判明

遺書もなく日ごろ快活な少年でトップで合格、首席を押し通し級長をつとめ教諭、生徒からも尊敬と信頼を持たれ、姉のしずえさんも學校でも『どうして自殺したのか判りません、不思議です』と云つて居り謎とされてゐるが、か弱い女の身で姉が自分を勉強させて呉れるのをいたく心にとめ『自分さへ居なければ姉は樂になれるだらう』と悲しい姉思ひの氣持からではないかとみられてゐる(寫眞は五問岩少年)

鍾路署へ二名

京城で百三十三名

京城憲兵分隊は 合せて七十四名 けふもまた十五名

龍山憲兵分隊へ また十五名

國民讃歌發表會

今夜六時 於 府民館

名譽の戰死者

鈴木部隊

鯉登部隊

故竹少尉 あす告別式

大相撲各場所

九日目取組

天氣豫報

京城地方

仁川地方

學藝と趣味

趣味の科學

花形力士の體格は
身長の平均値が五尺八寸

醫學博士　吉田章信

私は人體發育の概要を低力ならんとするを矯正して強力ならしむるに効果大なりと考察せらるべき國技相撲を能く練せる者、即ち力士に就ての研究を報告したい

先年名古屋に於て故林俊三博士が力士の血壓に就て研究報告された外、身體測定については、今尚其の學術的報告を見ない

本研究の對象は大日本相撲協會の優秀力士五名（横綱）以下四十二名と、それに引退力士の年寄などであつた　測定したのは昭和四年の五月と九月、二回に亘つて東京體育の體育研究所で行つた　測定については身長、胸圍、體重、腹圍、皮下脂肪厚、胸廓横徑、同前後徑、胴長、及び肺活力の九種であつたが、これに就ては何れ今後も研究を續行する積りだ

×

先づ最初力士の身長に就て見るに、その"平均値"は一七五・七センチ（五尺八寸）である、尤も被檢者中に出羽嶽（二〇三・八センチ）男女川（一九六・五）との二名が含まれてゐるので"流行値"（OM）を見る必要はある、"値"（OM）は二寸減じて五尺六寸となつてゐる、次に左に示す五力士について見るに横綱とはいつても栃木山と玉錦は平均値よりはやゝ少なかつた、即ち（單位センチ）

栃木山　（一七四・八）
玉錦　（一七三・五）
常の花　（一七七・九）
武藏山　（一八五・六）
男女川　（一九六・五）

であつて、これ等五力士の平均値は一八一・七（約六尺）である

×

優秀力士の代表的身長は總平均値より若干低い、併し假にこの平均値を代表値と見て、之を他の多くの個體群の平均値と比較するに國民身長の平均とも見るべき壯丁の平均身長との差は實に一五センチ餘を示し、本邦最優秀陸上競技家の平均に比し五・九センチ（一寸九分）柔劍道の高段者群の平均値に比し七・五センチ（二寸五分）大である

斯くの如き身長は本邦大人男子の標準に於て最大の段階を占め、流行値が大の中位を占めて居る、而して前途に平均値に略ぼ匹敵する日本人個體群を求むれば、陸上競技選手で、その平均値は一七四・四である尤も優秀力士のうちでも大ノ里の如き一六五・〇センチといつた小男もあつたが、何んといつても力士の身體的要素は大身長にありと云へる

×

次ぎは力士の體重であるが、その平均値は一〇〇・四キログラム（二六貫七八〇匁）である、"比體重"は平均五六・七で、三段以上の柔道家平均値よりも一〇・三だけ大である、流行値と雖も五二・六である、此體重は身長により影響されることが大であり、普通身長に正比例して増大するからあまり立入らない

體格指數は平均三・二五、之により優秀者中三型を分けた、第一型（體格指數・R氏充實指數及び比胸圍N＋10、N＋20）

玉錦　四・〇八
豐國　三・九三
鳥ケ崎　四・一二
出羽嶽　四・〇六
能代潟　三・九五
山錦　三・八四

第二型は胸の左程大きくない通常人樣の體型である、（同上指數N＋10）

男女川　三・五九
武藏山　三・二四
栃木山　三・四四
常の花　三・三七
大の里　三・一八

なほローヘー氏身體充實指數は平均一八四を示し、同身長の生徒に比し七四大であり、又陸上競技選手よりも五五・〇、三段以上の柔道家よりも三四大であつた（談）

胃袋を覗く眼鏡
醫專病院に設備さる

これさへあれば　胃も何のその

胃袋の中を電燈で照明し胃の中を直接覗いて、外からの診斷だけでは診斷し惡い胃癌や胃潰瘍の初期、慢性胃炎などを容易に摘發する機械シンデラー氏發明の「胃鏡」は内地では既に東大、九大、名古屋醫大に設備されて好成績を擧げてゐるが、今度朝鮮でも初めての試みとして京城醫專病院に胃鏡科を新設し早期診斷で胃の諸病を的確に退治することになつた

胃鏡は十年前シンデラー氏によつて發明されたもので、先端に電球の付いてゐるゴムの管を口から胃袋に通し電光によつて照明される胃の中を外から覗き込み、胃炎であるか胃癌であるかを診斷する機械であるが、その管が呑み難いのと他に多少不便な點が多かつたのを名古屋醫大桐原教授が軟式硝子式に改良しこの不便を除くと共に一層効果的のものを完成した醫專病院成田内科では昨年秋頃同内科助手金海龍氏を名大に派遣し同機械について研究させた結果その効能及び技術的方面の確信を得たので、こゝに胃鏡科を新設するに至つたものである（寫眞は胃鏡セット）

北支に觀る
原隊を求めて兵

本社特派員　鶴田吾郎

負傷した兵達が、手榴彈などによつて負傷した兵達が、幸にして野戰病院に收容され、漸く快方に向つた人達が、殺風景な病室から脱け出して外氣に觸れ、日光に浴することのたとへられない嬉しさだらう。

だが愈よ全快といふことになれば、再び戰場へと行く心、何れも矢の如しだ、ところが、いざ我が部隊に歸りたくとも何處に行つてゐるか分らず、兵站司令部でも分らない位だから、探し求める兵の氣持ちはまるで大北支を當てもなく歩くが如しだ、からして部隊は常に移動又前進するので、一ケ月も屢々さ迷ひ歩くともあるさうだ

豆談義　姫玉貞淑達

『靜かなドン』―― 私はこの作品中のナタリアが可哀想でならなかつた、私はナターシアに愛情すら感じた

そこで私は眼を内に向ける　私達は朝鮮を朝鮮人を知つてゐないナタリアエルザ達にも日々羽を並べてゐる碧玉や眞珠達が何を考へ惱んでゐるかを知らない、私共と彼等との愛情を妨げてゐた政治的社會的利害の相反は極力克服されつゝある、もつともつと魂が近づいていゝわけだが、距離は依然として存在する……朝鮮の文學がどしどし私共に供給されることが望ましい（朝鮮通信一月號隨筆より）

春の隨筆
虎と豹（三）
中村兩造

寳塚で思ひ出したことがある。

私は醫學で、彼は工學・科・そちがへ、高等學校以來の友人で同じ大學を出、二人とも相當の紳士になつてからの或る日、上野公園を散歩して動物園に入ることとなつた。そして豹の檻の前に立つた時、私は虎と豹とはどつちが強いだらうかと、よくある筋の話題を出した時、彼は即座に「そりア虎さ」と至極あつさり答へた。私が「何故虎の方が強いか」といふと、彼は「何故つてそりやあ虎の方が強いさ」とけろりとしてゐる。

その場はそれで濟んだけれど、園内をぶらりぶらりと初夏の顔かさで歩いてゐて、虎と豹が再びむしかへされた時、私は意外なことを發見した。といふのは彼が年三十のその日その時まで、虎は雄であり豹は雌である、即ち虎の雌をこれ豹といひ、豹の雄をこれ虎といふ、と理解してゐたのだつた。

そこで彼は、『あゝさうか、虎と豹とは雌雄ぢやないのか、別のものなのか、今日はおかげ樣で大發見をした』と大喜びだつた。

今まで子供の時から、虎だとか豹だとかいふ話は無數に出たにちがひないものを、よくもまあ彼が周圍に、周圍が彼に、何の齟齬もなく、話を合はして今日までを通して來た、といふことは愉快である。が然し、この事から、自分の知識としてずうつと平氣で通して來たことの中には、實は自分だけが知らずにゐる間違ひも多々あるのではないか、と私は今も時々考へさせられる次第である（筆者中村兩造氏は京城帝國大學教授）

銀幕轉換の春
三時間興行實施で
注目される二月以後の動き

内地では二月一日から内務省令に依る映畫の三時間興行制が實施されて半島でも右に關して種々考慮が拂はれてゐるがこれは映畫關係方面各部門にわたつて甚大な影響を齎らすもので、これが實施の噂が傳へられた時關係各方面は種々の議論を沸騰させたものである然し施行方法が法令化されて發表されてみると當事者達は無用の議論を捨てて、如何にして此の短時間興行を法規の許す最大範圍内で合理化するかの對策協議に移つた

松竹・日活・新興では一本立興行で客を呼べるに越した事はないが從來の慣例から早急に一本立にする事も出來ないし、これに伴つて料金を下げる事も營業的見地から見て現情では難しいので當分樣子を眺めた上で徐々に最も妥當な方法を講ずる事が可能といはれてゐる、と云つてゐる、大都、全勝、極東では社の方針として長尺物は製作しないので從來と何等變る處がないとの事であるが各社共に三本立以上の盛觀山と然も低廉な料金で興行をしてゐる地方並に三流館について目前の種として大いに研究してゐる樣である

では何故各社共に撮影が少いかと云へば支那事變以來生フイルムの輸入制限並に從價二割課稅と、是に伴つて國産フイルムの値上りは本年三月までに松竹、日活、新興約十二萬圓、大都八萬圓、東寶及び其の他も夫々相當の負擔増加となつた爲、俄然！エヌ・ジー（くずを出さないこと）を徹底させるやら、長尺物を廢する方針が自然三時間制に對して急激な變化を緩和させた事にもなり從來通り二本立興行が可能だと云ふ漠然とした見透しからである、然し實際として二月一日以後其の場になつては色々の問題に逢着してみなければ截然とした數字の出ないのが當然であらう、若し時代の趨勢から各方面で一本立興行が實行され始めたならば、當然そこに入場料金値下げ、撮影所機能の半減、從業人員の過剩の諸問題は惹き起され樣し、一本の映畫を製作するのに二本分の經費を料金値下から來た收入減の會社が資本を掛けるかどうか

會社自體は一本で客を呼び得られる傑作を強ひても製作者は果して半減の製作費で完成出來るかどうかの問題も起きるであらうし、其の間種々の勞務問題惹起の多からう事が豫想される、三時間制實施と云ふ大きな齒車が廻轉し始めた時、トーキーに依つて一轉換を見た我が映畫界は更に大きな變革を見せる事になるらう

英國でも上海映畫

『支那ランプの石油』『失はれた地平線』『將軍曉に死す』『大地』等々東洋殊に支那に取材した作品を續々提供したアメリカ映畫界では更に日支事變以來『上海の西』『上海の北』『上海の戀』等各社盛んに支那映畫の製作に乘出してゐるが、今度英國パラマウント社でもペインウッド撮影所で新たに日支事變に取材した映畫『上海事件』の製作を開始した、監督はジヨン・ハデイ・カーステア、主演はペトリック・バアとジヤネット・ジヨンスンで日支事變に際し上海の支那人經營ホテルに閉ぢ込められた歐洲人の困惑と愛情を描くものであるから英國人の立場と日支事變との關係を示す作品だけに注目に値する

雲井式部　あすから京劇

好調の波に乘る女流浪曲界雲井式部は廿一日から四日、京劇に開演する、一行は廣澤虎行、日本千代若、中村燕、京山櫻造、京山春駒【寫眞は本社訪問の雲井式部一行】

綾聲會素謠

一月二十三日（日曜日）正午から朝鮮神宮表參道御成町集會所で素謠を催す『神歌』勅題『神苑朝』『弓八幡』『姫』『三人姉』『鈴木』『鞍馬天狗』『猩々』等

新映畫の紹介
鼻唄お孃さん
松竹大船作品

『ママの縁談』で好評を博した新鋭澁谷實作品、畫家の娘とその從兄の『戀のみちくさ』を描いたもので、出演は田中絹代、夏川大二郎、三宅邦子、齋藤達雄、大山健二、原作は伏見晁、カメラは桜本正二郎【廿一日からメトロ『君若き頃』と共に明治座に封切】

思想戰展覽會
本府も積極的に參加

內閣情報部では二月中旬東京に於て皇軍と皇道精神の發揚を目指して思想戰展覽會を開催することゝなり總督府にも資料提出方を懇談して來た、總督府では最近半島に於ける皇民精神の發揚と赤化思想の撲滅に著しい飛躍を見てゐるので、この機會に時局下の半島の實情を内地の人々に認識せしむべく進んで參加することゝなり『皇國臣民の誓詞』『半島銃後の赤誠』など、その他各局課から資料を蒐集して近く內閣情報部に送ることとなつた

不連續線
女の髮

女の髮も隨分變遷したものである。私の子供時代の思ひ出だけでも、六十を越えた祖母は、もうその頃祖父が死んでゐたからか茶筌髷だつたし、母はまだ三十歳だつたが、丸髷を結つてゐた。そして、姉は十二三で稚兒髷だつたと思ふ。

日露戰爭を境にして、いはゆる束髮といふ西洋髮が流行し、二百三高地といふのさへ現れたが、當時のモダン・ガールは、庇髮と稱する前へ突き出た髮を結つて自慢だつた。

銀杏返しは下町の女に結はれ、屋敷町には、いつの間にか、例の束髮が普及してゐたと思つたも束の間、七三耳隱しといふのが出來たり、つひには若い女性で黑髮を切ることが流行し、更に、後の方を男のやうに刈り上げる少女さへ現れて、おさげに結つてゐる女の子は稀になり、誰も彼もが金太郎みたいな頭をして、從つて、女學校を出る頃になつても、髮は長く伸び揃はず、窮餘の一策がパーマネント・ウエーヴといふ縮れ毛になつたりした。

非實用的であるとは思ふが、今となつては、丸髷もなつかしい一つの風俗ではある。折角結つた丸髷をこわしたくないばかりに、堅い枕をやめて、お茶の箱を臨時に用ひたといふやうなことも、聞けば微笑ましい話題ではないか。

伊陸軍の懸賞

イタリーの陸軍省は故國にゐる自分たちの家族に最も勝れた無電のメッセージを送つた兵士に賞を呈することにしたこれらのメッセージは『よき希望』乃至『普通の軍隊生活の意義あるエピソード』の簡單な物語に限られてゐる、賞は『話者の才能、心性、感情の最も純眞な表現』に對して呈せられるはずである

新刊紹介

▲物價の理論と實際（牧野輝知講演）二十五錢、東京・麹町・丸ノ内海上ビル、啓明會
▲日本問題號（昭和十三年度）二圓、東京・京橋・銀座西八、日本商業通信社
▲朝鮮氣象月報（十月號）二十錢、仁川山根町、朝鮮總督府觀測所
▲婦女界（一月號）特輯榮え行く家（七十錢、東京麹町・九段四、婦女界社
▲朝鮮の教育研究（一月號）時局特輯（四十錢、京城壽松町二七、…）
▲明倫（一月號）十錢、東京麹町丸ノ内海上ビル、明倫會
▲東洋（新年號）六十錢、東京・麹町一ノ三東洋協會
▲朝鮮地方行政（學寶）
▲棋道（新年號）別冊附錄棋譜（一圓、東京麹町・永田町、日本棋院）
▲ホームライン（新年號）二十錢、東京・日本橋・本町一、ホームライン社
▲專賣の朝鮮（一月號）三十五錢、總督府專賣局內朝鮮專賣協會
▲滿洲國輸出入稅率表（康德五年一月一日施行）五十錢、大連取引所商工會議所
▲英語俱樂部（新年號）三十八錢、東京・京橋・木挽町八ノ四、平原社
▲ポトナム（一月號）四十錢、東京・牛込・新小川町三、ポトナム發行所
▲眞人（一月號）五十錢、東京・豐島・西巣鴨三ノ九一一、眞人社
▲文化農報（新年號）二十錢、東京・芝・田村町一、文化農報社
▲蠶絲（一月號）三十錢、長野縣上田市海野町、蠶絲雜誌社
▲被服（一月號）三十九錢、東京王子・赤羽町、被服協會
▲2600（一月號）二十錢、東京、麹町、內幸町大平ビル、三六社
▲報國評論（一月號）三十錢、大日本報國會本部
▲無盡通信（一月號）六十錢、東京、神田、一ツ橋二、全國無盡集會所

國定忠次（くにさだちうじ）

(173)

長谷川伸作　岩田專太郎畫

大戸の關（七）

文藏は胸をどきンとさせ、

「佐與松、何だ、騷動とは」

「俺達があがつた家てのがお殺しのつく家さ。女は恰度三人ゐたが恐れ入つたものなんだ」

と、醉ひが廻つてゐる佐與松の手眞似まぢりの間ぬるい話に、文藏は顔を險しくして、

「安、お前、話せ。騷動といふのは何だ」

「なあにね　隣の家でこれをやつてゐたんだ」

博奕な。

「こつちは騷ぎになつてから氣がついたのだが、女の話では、可成り大きい賭貢が毎晩のやうに出來るんださうだ」

「荒しがあつたのか」

「さうなんだ。後で判つたんで磯懲さ、知つてゐれば此方が荒しに行つてみたものを惜しいことさ」

「だれが荒しをかけたものは？」

「判らねえ」

「その當人は飛んだか。まさか鈍を踏みはしなからう」

「それがさ文藏さん。梁ッ鼠で、見えのを引ッこ拔いて、何處から飛びこんできたか、出役けにぴかく投錢し、場錢をそッくら引ッ手繰、消えてしまつたんださうだ」

「ふン」

「みんな鬼氣を拔かれてぽかんとしてゐたさうだが、梁ッ鼠の奴が引揚げてゆくうしろ姿を見ると二三人急に氣が強くなつて、野郎ッ捨てか何かで追ッかけて行つたのが台所だつたさうだ。見るともう鼠を足場に引窓から屋根へあがつてしまつてゐるものだから、野郎ッ待てか何か又いつたんださうだ、すると、引窓からぬッと覗いた顔つてものが人間でねえ」

「人間でねえ」

「あ、人間でねえ。天狗樣だつたといふんだ」

「ふうン」

「みんな肝を潰しやがつて、追ッかける氣がねえ、やッと氣がついて外へ出てみたがもう居やしねえ。それからだよ、その賭場にゐた連中が外を駈ずり廻りやがつて、あつちだこつちだと、騷々しいの何の、おまけに俺達のあがつてゐる家まで叩き起して、そこの亭主野郎を狩出してよ。そいつらが云つてゐたが、草を分けても搜してみせるとか何とか強がつてけつかるのさ」

「さうかーじやあ、飛んでしまつたんだな」

「天狗樣かい。それッ切りだ」

「さうか」

思はず太い息をついた文藏は、五人が不審さうに見詰めてゐるのに氣がついて、

「こんな處にもそんな邊者が居たのかなあ、どうれ」

と、文藏は用に立つた。甚五郎が、

「俺も行かう」

「俺も」

と、伊八も起ちあがつた。

「今、話かけた事た、あれはあす山ン中で話すぜ」

文藏は二人に先手を打ち、引返して座敷へはひり、見ると彼の三人は眠つたらしい。

やがて、伊八も甚五郎も睡つた。文藏だけは眼が冴え神經が尖つて睡れない。

五人の寢息をうかゞつて文藏は杉戸一重隣の忠次の臥床を隙見した。夜具はこんもり高くなつてゐるが文藏は、それを忠次の臥床とは思はない。

忠次は居ない。

文藏は臥床のなかで天井を睨んでゐる、神經は耳にあつまつて、忠次の足音が今起るか聞えるかとそればかりを待ちかねてゐる。

鷄がどこかで鳴いた。

水の流れが雨のやうに事新しく聞える、と、廊下がみしりと鳴つた、たつた一ッ、

文藏が息を呑んだ。

やがて、又、みしりと一ッ、文藏のゐる座敷の前で廊下が鳴り、人の通る風が障子に當つた。

「お睡ンなさい」

低い聲で文藏がいつた。

廊下で立停まつた人の袖が、さらりと微かに障子にあたり、

「うん」

重たく沈んだが忠次の返辭が聞えた。

「親、親分ッ」

文藏は堰とめかねた聲を走らせた。

京城日報 朝刊

熱鐵一打前進せよ

銃後の精神總動員につき 末次内相特に訓示

【東京電話】末次内相は今回の事變が長期戰時體制下の時局再確認に徹底すべき新段階に到達せる事を期し……統後の精神總動員につき訓示を更に敷衍し、抗日政權根絶を目標に強硬決意を固めた、帝國政府の方針とこれに對應すべく擧國一致時艱克服を切望し……

……物的に國力增強に一層の努力を必要とするものである、特に……過去の歴史に未だ嘗てなき實に滿足すべき現状にあつて聊かの沈滞もないのである……即ち五十パーセントの安全率を得れば後は決意の問題である、この際國民が最も戒心を要ずべきことは疑心暗鬼狐疑逡巡することである、國民は何物にも恐れず熱鐵一打もつて擧國一致の體制下に時艱克服に邁進するやう切望する次第である

近衛首相談と ロイテル報道

張學良 スターリン と懇談說

御巡視の賀陽宮殿下

【松井司令官の御案内で上海蘇州河戰跡御視察＝航空便】

町田民政黨總裁

火を吐く擧國一致

各黨大會における烈々の叫び

島田政友代行委員

……を以て時局に……重大聲明を發表したがもと……然の歸結でわが國は今臨……道を表す、今次の事變は世……公敵赤禍の侵入を防止し亞……における文明と資源とを亞……自らの手によつて復興し世……類の福祉に貢獻せんとする……

……ある所であるか今次事變……り特別の利益を得たるもの……し新に相當の負擔を拂はし……は社會正義の上から必要で……戰時體制下の經濟政策は……貿易、金融並に國內生產……的研究にでるまで必要に應じ……一層統制強化せらるゝこと……むを得ざることであるがそ……嘗に當つては最善の注意と……を拂ふべきである【寫眞は……總裁】

聖戰である、この遠大なる聖業を成就することは決して容易のことではない、國民全體が打つて一丸となり國民各層の職務の分擔が整然たる綜合的體系をなす必要がある、政府の財政策といひ經濟方針といひ產業對策といひとかく區々たる事務的手段に囚はれて一の核心を把握してゐない、よろしく禍を去くして一個の大綱をつくるのが戰時對策であり……今や新興政權と協力して……東亞の新秩序に……不拔の指導原理を確立する必要がある、第三國とは友邦の道を重んぜねばならぬが國ありての外交である、この機會に進國外交を清算し獨伊二盟邦と緊密の連絡をとると共にその他の諸國の認識を是正し以て東亞の安定勢力の不動の地位を承認せしめねばならぬ、一方戰死遺家族傷病兵の生活保……

徐州に戰雲慌し

廣西、舊東北軍潰滅の運命

【上海二十日同盟】隴海、津浦兩鐵道の交叉點徐州は戰區司令李宗仁の指揮により必死の防禦工事が行はれ戰雲頓にあわたゞしく同方面の支那軍の動きは日毎に活潑となりつゝあり、蔣介石は李宗仁に對して徐州死守を嚴命すると共に自ら鄭州、開封に飛んで前線將兵の鼓舞激勵に當り胡宗南の指揮する蔣直系軍の精鋭大部隊を京漢線許州を中心に集結せしめ第二段の防備を固めてゐる、某方面への確實なる消息によれば李宗仁の死守する徐州の第一軍の後方にあつて督戰隊となつて第一線に立たざるものゝ如くで雜軍整理の戰法を用ひて蔣介石年來の政敵たる李宗仁の廣西軍及び于學忠の舊東北軍の勢力をこの機に一掃せんとする狡猾なる手段を採るものゝ如くで今や徐州の大會戰を控へて彼等廣西、舊東北兩軍三十萬の運命は潰滅に直面するに至つた

現銀三億二千萬弗

英蘭銀行へ積出し

【香港廿日同盟】最近三ヶ月間にわたつて香港から英蘭銀行宛積出された銀貨及び銀塊は三億二千萬ドルに上つてゐるが來る二十二日には更に香港から純銀三千萬ドルの積出しが行はれるが、これらの九割までは國民政府の所有に屬し積出しの目的は一部を軍需資買入れに充て他の大部分はわが海軍の支那沿岸封鎖實行の爲の將來銀の積出しが困難となつた場合における對外支拂準備のためと見らる

敵、鎭海港を封鎖

【上海廿日同盟】浙江省寧波の門戸たる鎭海港に對し支那側當局は十七日午後以來正式封鎖を實行しつゝあることが獨逸汽船の入港不能事件によつて明かとなつた、右鎭海港封鎖は錢塘江沿岸の戰鬪狀況並に日本軍上陸などの風聞濃厚に驚いた結果と見られてゐる

長野部隊 青島入城

【青島二十日同盟】青島方面より潰走した敗殘兵を掃蕩しつゝ去る三日濟南を出發、膠濟線傳ひに東進中であつた長野部隊は十八日夜流亭に達し同地に一夜を明かし十九日早朝出發○○方面より先着の櫻井部隊並に支那側代表の熱誠な歡呼裡に二十日午後二時青島に入つた、これにより濟南青島間三百九十餘キロの連絡が完成した譯である

安達國民同盟總裁

【東京支社特電】安達國民同盟總裁の演說要旨

わが國としては今後蔣介石の軍隊ならびに政權を壞滅せしむるため徹底的作戰を強行するは勿論なるも蔣政權に對する第三國の援助を排除することが最も重要である、この第三國の對支援助を合法的に封鎖する途は未だ殘されてゐる、政府は更に熟慮して重大決意を以てこの手段を採用すべきである、親日新政權に對し單にこれと提携すべしといふが如き言明では十分ではない、かくの如き機關に對しては帝國の實力を以て絕對の保障をなす旨言明すべきである、帝國のこの決心が明白となれば茲に初めて新政權が發育し支那民衆が安堵の心を以て翕然とその傘下に集るであらう【寫眞は安達總裁】

……證に關する對策は實に國家に捧げたる尊き犧牲に對する道義的責任である、政府は萬全の策を講じ悔いを後顧に殘してはならぬ(以下略)

日高參事官通過

駐支大使館參事官日高信六郞氏は旅客機にて東上の途天候不良のため、二十日午前十一時奉天より京城飛行場着、少憩の後、午後四時十五分京城驛發あかつきで東上した

英、米、佛で協議

トン數制限撤廢を

三萬五千トン緩和を考慮

【パリ十九日同盟】日本の超弩級艦建造說が最近歐米に流布されてゐるが右に關聯しフランス下院海軍豫算報告委員キヤンダース氏は十九日AP記者に對して英、米、佛三國は主力艦噸數制限撤廢につき協議を行つた旨左の如く語つた

政府はロンドン條約會議の規定による主力艦三萬五千噸の制限緩和を考慮するため最近意見の交換を行つた

歸任の總督へ 各方面から謝辭

南總督は既報の通り東京からの歸途、嵐のやうな歡呼と感謝の聲の裡を十九日夜歸任したが、廿日は南總督の登廳前から朝鮮人志願兵制度實施について各種朝鮮人團體代表をはじめ國民協會代表金明濬氏、甲子俱樂部代表の曹秉相氏、中樞院參議代表韓相龍氏、……院代表朝鮮任參議……述べるため本府を訪問した一方、謝電は……なものは

天津朝鮮人民會▲滿洲國四平街朝鮮人大會▲龍井街有志者大會▲新京朝鮮人各團體一同▲新……抗從事青年團▲……部朝鮮人一同▲間島東滿朝鮮人會有志一同▲函館朝鮮人……督會▲平壤大同々志會▲慶北尚州……張稷相氏▲……他百餘通に達してゐる

駐支蘇大使 信任狀捧呈

【ロンドン十九日同盟】十九日のロイテル漢口電報は新任駐支ソヴエート大使オレルスキー氏の動靜を次の如く報じてゐる

オレルスキー大使は日本軍の空襲に妨げられ漢口に滯在を餘儀なくされてゐたが十九日大使館員五名、支那外交部員と共に漢口出發飛行機で重慶に向つた、オレルスキー大使は重慶に於て林森主席に信任狀を捧呈する豫定だが新首都における外國使臣の信任狀捧呈は之が最初である

寺内最高指揮官 北京へ移る

積極的に新政府支援

【北京二十日同盟】北支派遣軍最高指揮官寺內大將は幕僚を隨へ二十日午前特別列車にて天津出發午後將時二十五分北京驛に到着、直に遊紳社に入つたが午後四時左の如き談話を發表し

今次余の北京に移りたるは正統……然るに迷蒙未だ醒めざる蔣軍……中上の必要に基くものなり、また他面これがために北支に成立せし新政府の首都たるこの地において親しく新政府を支援して明德新民の施政に協力し得るは余のひそかに欣快とするところなり、今や皇軍の向ふところ威武堂々黃河、揚子江を壓する、……般遂に國民黨政府を相手とせざる旨聲明するに至れり、かくて余は更に徹底的に蔣軍の壓倒殲滅を期し更に新興支那の建設に極力し民生の救濟文化の復興に寄與するところあらんとす【寫眞は寺內最高指揮官】

首脳者は徒らに長期抗戰を呼號して民生の利益を顧ず共存血を犧牲にしてやまざる異狀を敢て し人道の公敵たる赤化の魔の手に翻弄されつゝあり帝國政府は隱忍久しく彼等の反省を待つたが何等誠意の見るべきなく、過……

青天白日旗を引卸し 許大使淋しく引揚ぐ

曰く"たゞ心痛あるのみ"

【東京電話】駐日支那大使許世英氏の引揚げは小雨そぼ降る二十日行はれた麻布に在る支那大使館の

青天白日旗

は既に降らず僅かに事務所の入口のみ開かれあとは悉く閉ざされて十九日の荷造りの名殘にひきかへ廿日は全くがらんとして淋しい、許大使は東京における最後の一夜を二階南側の寢室にとり、午前十時過ぎまで寢込み、やがて起床した大使は感慨無量の中に淋しい朝食を摂り食事が終つた頃スイスの代理公使が訣別に來たものゝたゞ名刺を託したのみで館員一同も

事務所に引

込み一切面會を避け、午後一時から最後の新聞記者團との會見を濟まして自動車で京濱國道をまつしぐらに横濱に向ひ、エンプレス・オブ・エシア號で戰雲渦巻く故國に歸つたのであつた(寫眞は許大使)

歸國談

【東京電話】本國政府の訓令により引揚げ歸國する許世英駐日支那大使は二十日午後一時半大使館で出發に際し左の如き談話を發表した

昨年三月余が歸國の時に當り深く日支關係を憂ひ、若し之が年內に改善せざれば益々惡化するものであらうことをかつて貴國朝野の人士、中國出先官憲はもとより國民政府要人、知己朋友にも献言した、不幸にして七月七日俄然蘆溝橋事件發生し余はその責任の重大なるを知り七月十六日一旦歸國し再び病をおして歸任した、今日の事態は日に惡化の一途を辿りつゝあり現在の如き重大事態に立ち到つた、眞に憂慮痛心に堪へない所である、吾人は世界の史例に照して國運の盛衰また止むなしとするもそれは永久不變のものではない、また民族の感情は武力によつて抑制し得るものではないことをいひたい、現在の事態を以つて果して政治的眼光を備へてゐる人達はこれを日本の永遠の幸福と認めるであらうか、余は半年この方神經衰弱に苦しみ本國政府に對し辭意のため屢次請暇歸國を許容されんことを屢々請ふたが許されず、今次漸く命により歸國することになつた、余個人の知る所、見る所を忠實に本國政府に對し十分陳述するつもりである、今回發に當り感慨無量、たゞ心痛あるのみである

地方軍閥の雄 劉湘急死

死因に多大の疑問

【上海二十日同盟】四川省主席劉湘は二十日午後漢口において急死したこと判明した

【上海二十日同盟】四川省主席劉湘は蔣馮、閻錫山等と共に地方軍閥の雄であつた、事件勃發以來劉湘の直系軍隊は南京外廓攻防戰において殆ど殲滅的悲運に陷り、永年の地盤四川省は蔣介石の抗日政權の最後の根據地となつてこゝに劉湘の軍閥的地位は頗る危殆の淵にあつた、四川省が中央軍の武力によつて占領された劉湘は漢口に踏み止つてゐた、その死因については多大の疑問が抱かれてゐる

大野總監着京

【東京支社特電】政府委員として議會出席のため東上した大野政務總監は元谷秘書官、松澤屬を隨へ二十日午後三時二十五分東京驛着『富士』で夫人、令嬢始め水田財務、穗積殖產、鹽原學務の各局長その他官民多數の出迎へを受けて入京、直ちに自動車を驅つて吉祥寺の自邸に入つた

人

◇鄭僑源氏(忠南知事) 二十一日入城、朝鮮ホテル

◇川井昌一氏(京城ウラシマヤ本店主) 本町二丁目町總代表として……に合……步兵上等兵……告別式……終了挨拶のため廿日本社來訪

……朝鮮軍報道班長岩崎……高級參謀▲また少……で福知山聯隊……入營して來た新兵……今は釜山驛……組本店……信三郎氏が……

【社説】 内鮮一體化の道 須く歴史の觀點に起て

内鮮平等を目指す教育令の改正と志願兵制度による兵營の門戸解放とは果然、十三道の民衆を擧げて嵐の如き歡呼を以て迎へしめた。有史悠久の昔年は顧を捨し志願して入營を志願して中には血書を以て熱願するもののすらあり、その歡喜と感激の情は恐らく併合以來最初にして最大のものであらう。蓋し、これによつて内鮮一體が單なる併合にあらず事實の上に顯現され、殊に多年朝鮮同胞・熱望して已まなかつた教育の内鮮一如と國防への參加が許される事となつたがためである。併合以來二十八年既に半島人の地位は向上し内鮮一體化に近づきつゝありとは言へ、尚完全なる皇民として内鮮一如無差別にまでは未だ到達するを得ず、不滿と言はずる迄も一種の隔障を感じて居つた事實は否定し得ない。教育令の改正と志願兵制度の實施とは、半島同胞のこの隔障を解消するものであり、民衆の感激も亦實にこの點に存する。

◇

固より今回の教育令の改正も志願兵制度の實施も、未だもつて完全なる内鮮一體の顯現と言ふ事は出來ない。さらに又教育、兵制以外の政治上、經濟上、社會上に於ける内鮮一體化に至つてはさらにく幾多の問題を存し、將來の努力に俟つべきもの頗る多い。半島同胞の間には或はこれらの事實よりして今回の二大英斷に對しても『小惡未だ飽かず』となす不滿が存するかも知れない。不滿と言はずとも次は徴兵令の實施、選舉權の獲得等に向つて新たなる運動を起さんとする者があるかも知れない。既に多少その兆候は認め得られる。

◇

我等はこゝに若干の苦慮と反省を要求する。特に社會の指導階級に屬する識者の熟慮を求める。内鮮兩族が皇室の下に一家を成して以來僅々未だ三十年に過ぎぬ。風俗習慣、思想、教育、相似して居るとは言へ、これが渾然融合一體化するには二千年の歴史に對し勿論相當の歳月を必要とする。言はゞこれは歴史の事業に屬する。百年か二百年か、少なくも子孫數代に亘る努力を必要とする事を覺悟しなければならぬ。この大業を三十年や四十年の短時日をもつて成就せんとするものは歴史的色盲と言ふ外ない。性急短慮にして結論を急ぎ事功を焦るのは内鮮兩族に共通する一大缺點であるが、昨今の一體化問題に對しても亦この缺點が歴然禍せんとしつゝあるのは我等の頗る遺憾とする所である。

◇

まづ皇民たるの自覺と努力、これあれば差別の撤廢と完全なる一體化は自然に成るのである。俸給や身分や參政權などに平等を實現して一體化するにあらず、まづ民衆自らの自覺と努力により精神的に一體化すればこれらのものは自ら解決されるのである。南總督がまづ教育と兵制より着手した所以はこれによつて半島同胞の自覺を促し努力を求め、次の一體化への段階たらしめんとする用意と信じられる。半島同胞のこの際に覺悟すべき事は身分や參政權の平等化にあらず二大政策を通じあらしむべき自覺と努力でなくてはならぬ。かくて我等の次の時代、兒孫をして完全なる皇國臣民たらしむる礎石を築く事でなくてはならぬ。すべては歴史の尺度をもつて律すべく區々たる眼前の小利害小差別に囚はるゝ如き事は、この歴史的時代に處する國民の態度では斷じてない。昨夏兵制問題が輿論化せんとするや南總督は『かゝる事は爲政者の考慮すべきもので民衆の要求によつてなさるべき問題ではない』と言ひ今回歸任の車中では『半島同胞の自覺が既に國防參加に足るに至つたと認めらるゝが故に敢へてこの舉に出た』と言明してゐる。民衆の努力が總督のこの期待に十分なる滿足を與へる時こそ完全なる一體化の實現される時である。

昭和十三年の日本

全國民は皆眞劍に考へてゐる

時局座談會 【14】

出席者（いろは順）	
民政黨顧問	富田幸次郎氏
前調查局長官	吉田茂氏
陸軍中將	建川美次氏
法學博士	十河信二氏
	下村宏氏
【本社側】	御手洗副社長及び東京支社記者

――十二月廿日・東京築地錦水にて――

下村 それもあらうが、はじめ任命した時に一緒に辭表も取つておいてやつたら宜いといふ意見もあるね。

吉田 それぢや引受ける奴がないかも知れませんね。

下村 大體閣議にしても、伊藤、山田、井上、山縣、松方といふ人々の時代には各人が國務大臣として他省のことにも遠慮なく口出しをしたらしいが、近頃各省大臣が各省から持つて來たものを主張する。他省の人たちは差出ぬやうにと口をつぐんでゐるらしい。

建川 上手になつてゐるんだ

吉田 僕は終ひには締出されて了つたが、閣議の席上眞劍に掴み合をやるやうたところまで論じ合ふといふことはあまりないやうだね。

御手洗 大變有難たうございました。まだ幾分伺ひたい事を殘して居りますが皆さん餘り熱論して頂いた爲め時間が遲くなりましたので此邊で幕を下ろしたいと思ひます、併し最後に是非願ひたい。それは戰後は經濟的にも政治的にも大變なことが起つて來るだらうと思ふんです。戰費も來年一年つゞけば百五十億はかゝるだらう。同時に國内の產業狀態から考へてみても、或は對英、對米、對露の非常時的狀態を考へてみても、又は戰地から内地へ凱旋する將兵が當面する生活の問題でも……。

吉田 それが目前の問題だ。

御手洗 實に大變なことが起つて來ると思ふんです。それについて、極く一口々々で宜いんですから、それは斯くすべしといふことを御伺ひして幕を引きたいと思ふんです。

下村 問題を解決するにこんないゝ時はない。戰時であり、内閣は近衛さんで、議會も何もあまり文句は言はない。この機を逸したら庶政一新も長いこと駄目ばかりであつたが、結局駄目だけに終つて了ふ。

建川 斯ういふ時は連續的に議會を開いておいても宜いんだな

吉田 報告をして貰つて皆が質問すれば、自から歩くべき所へ歩いて行く。今は難儀だと言へば難儀だが是程好いチャンスはない

下村 五・一五、二・二六などの事件があつて、今、この事變にぶつかつた。この機會をミスしたら困る。

十河 先づ内閣制度の改革が問題になつて居るが、さう云ふものをどん〳〵片付けたら宜い。

吉田 それの一番障碍は議會だ、之を總理が一番心配して居るのぢやないかね。

十河 それは心配することはない。

吉田 それは總理に改革の決意さへ確立して居れば近衛さんとしてはいくらも其の隘路を突破する丈の方法はあると思ふ。

建川 憲法制定當初とは世の中が變つて居るから何時までもそんな馬鹿氣たことを言つてゐる時代ぢやない。それも豫想も付かない時代に出來たんだから

御手洗 國民は死に角一生懸命ですからね

吉田 地方の人々に對しても相濟まぬと思ふ。親を殺し兄弟を殺し、子を殺して一生懸命に頑張つて居るが、それに中央がはつきりしない。誠に相濟まぬと思ふ

御手洗 國民精神を作興する事から言へば先づ上の方の決心が第一と思ひます

御手洗 有難うございます 非常に熱の入つた御話を伺ひましたことを厚く御禮を申上げます。（完）

舊套を脱せよ【下】

農業技術官會議における 農林局長訓示（要旨）

…心を取せ其の實施狀況を監視し來つたのでありますが年進整計畫の樹立、原種純系の保持、採種畓の經營或は種籾の交換に對する指導監督等種子の全般に亘り向各位の工夫と努力を要する點が尠くないやうに思はれるのであります

尚昨年產米は豐作と共に品質も一般に良好でありますから此の機を逸せず本事業の革新を期する覺悟を以て本府同に於ても十分協議を遂げられんことを切望する次第であります

籾の 乾燥調製は道郡當局の指導獎勵生產者及自體の自覺並に籾檢查制度の確立等と相俟つて漸次改善せられつゝあることは洵に喜ばしき現象でありますが只昨秋南鮮地方に於て刈干中異常の惡天候に遭ひ米質の低下せるもの或は發芽せるもの又は堆積中醱酵に因り胴割米を發生せるもの等がありまして可惜豐作の成果を逸したるものもあつたのであります又籾の調製に於きましても今尚土砂、石礫等の混入著しきものがあるのは甚だ遺憾に存ずるのでありまして之等は要するに農家の生產過程に於て適切なる乾燥方法、脫穀、屑籾選擇の勵行せられざるに因るのでありますから今後指導獎勵に關し一層各位の努力を煩したいのであります

土地改良

土地 改良事業は産米增殖計畫の中止後未だ全面的に其の助成を復活するの時期に至らないのでありますが現に尚九十四萬町步に亘る大面積の水利不安全畓は舊態依然として年々旱魃の脅威より免れ得ざるものがあり又一面南鮮地方に於ては既に耕地著しく不足を告げ農村人口の增加に伴ひ得ない懼があるのでありまする特に現下の情勢が此の儘推移するに於ては再び朝鮮に於ける土地改良事業の復活を叫ばるるの日も遠からざるにあらずやと思考さるるのでありますく

此等 の情勢も篤と了承せられ徒に產米增殖計畫の中止に伴つて縮小せられた現行の助成範圍のみに捉はるることなく該事業の前途を達觀し常に進取積極的の意氣と熱とを以て常時、非常時の兩局面に對處するの準備を整ふることを念とせられたいであります

次に 水利組合區域内の農事改良に關しては既往二回に亘つて關係法令を改正して其の施設の範圍を擴張致したのでありまして各組合共概ね其の趣旨に則り實施しつゝある所でありますが其の多くは徒に施設多岐に亘り各組合共一律的、一齊的指導の域を脫せず眞に個々の組合の實情に即應したる具體的計畫に至りては未だ不十分なる嫌あり從つて豫期の効果を舉げ得ざる向が少くないのでありまする故に將來以上の缺陷補正に付ては一段の御留意を致されまして其の施設する機能を十分に發揮せしめ水利組合をして眞に一般農事改良の先驅たらしむるに遺憾なきを期せられたいのであります

以上は從來實施し來つた重要なる事項に付所懷の一端を申し述べましたが本會議を開催せる根本精神は此の非常時局に當面して各位と共に十分なる協議を遂げ消費の節約重要農林資源の開發生產力の擴充及農村の安定等に一段の拍車を加へると共に進んで各般の諸施設に就ても根本的に再檢討を加へ戰時體制下に即應せる革新政策の確立に資したいとの念願に出でたるものに外ならないのであります此等の意味に於て諸問題事項に就ては勿論其の他の場合に於ても各位は腹藏なき意見を開陳し本會同をして最も有意義ならしめんことを希望する次第であります

志願兵制度に就て

同耀會理事 子爵 金虎圭

朝鮮 における志願兵制度の問題は永らく半島二千萬民衆の熱望し來れる所であつて本年四月より實施せられる事となつたのは、我等の感激と光榮を此の上なく映るのみならず一方半島民度の向上、民情の純化を表示し進んで我等皇國臣民たるの實質的義務の大半が、見事に遂行せられ得る事の一證左ともなつて、共々に、皇國臣民たるの人的資質とその具象的義務とが明らかにせられたのである。實施に至る迄の根底には常に半島民衆の熱望と滿洲、支那兩事變の際における愛國至誠の發露によるのであり又當局者の大英斷に依つて我等半島民衆の赤誠を具體化するの一方途が開けたといふべく我等の感謝と感激と發奮の熱誠をなすものである。我が皇軍の優秀性はその旺盛精神の具體化の上に立つ事勿論であるが更に御一新の際における國民皆兵の制度になる事は論を俟たぬ。

今回 の志願兵制度の實施は必然的に將來の朝鮮人徴兵令の制定を前提纏想せしむるものであつて、我等半島民衆の上に、皇國臣民たるの名譽ある又當然の義務が燦然と輝く日の遠からざるべく、此の日にこそは、二千萬同胞擧つて、愛國の赤誠の具體化において、尚一層の拍車を加ふべきであらう

志願兵制度の實施に伴ひ其の課程修了者に對しては兵役法の適用せらるべく現役又は第二補充同様の兵役義務が課せられ、茲に臣民たるの義務が遂行せらるるので下士官及び幹部候補生の制度も行はれ、將來に於いて光輝ある皇軍の中に朝鮮人幹部も加へらるべく半島民衆の光榮はその度を增し、その義務は愈よ重大となつた譯である。

我等 は、茲に無上の感激に包まれて、その歡びを共にし、當局者の大英斷に對し謝意を呈し、今日澎湃として起りつゝある愛國の至誠を一層高揚し、その具體的實踐を計らねばならないのである

明太魚獲は頗る豐漁

規則改正を前に

朝鮮に於ける水產の巨頭明太魚漁業も愈よ其の末期に近づいたが本年その水揚高は如何程なるかは改正されんとする明太魚肝油取締規則に相當な反響を與ふものとして期待されてゐる、しかして十九日本府水產課に於て聽くに、本年明太魚水揚高月平均五萬圓で之れが就業四十八艘として實に二百四十萬圓の水揚高を示してゐると云つて居り、氣づかはれた漁況不安も吹き飛び、北鮮道に於ける所謂明太景氣を湧く漁獲を示してゐる

つゞく慰問金

十九日本社寄託の分

明朗北支那建設の大偉業に日夜人知れぬ辛酸をなめてゐる皇軍の上を追想し乍ら十九日本社へ屆けられた皇軍慰問金品呈出者は黃海道沙里院小島幹吾氏が五十圓、京城黃金町四の三〇二渡邊峰太郎氏が百二十圓、咸南端川郡沓洞里洪允玉氏が十圓、同郡洪允玉氏が五圓、京城府光熙町一八四鄭段善子氏が慰問袋二點、京城府仁町八九鄭路枝三年生矢野哲也君が一圓六十錢又北支に轉戰してゐる二勇士から出征途上立寄つた京城の地に送られて來た北支〇〇部隊下河邊部隊清水隊後藤耕市、山岡勳三兩勇士から夫々二圓の獻金があつた

本社寄託金 一月十九日取扱

皇軍慰問金

金額	寄託者
一百二十圓也（恤兵金）（亡渡邊家靜忌明返禮に代へて）	京城府黃金町四ノ三〇二 渡邊峰太郎
五十圓	黃海道鳳山郡沙里院邑内駒泉里 小島幹吾
四十六圓五十錢	咸南端川郡利中面沓洞里大日本國防婦人會沓洞里分會
十圓	咸南端川郡端川面塔下里 洪允玉
五圓	咸南端川郡福貴面龍湖里 沈且鎬

日計金 二百三十一圓五十錢也
累計金 七萬四千八百六十八圓三十五錢也

防空器材献納

金額	寄託者
二圓	板垣兵團下河邊部隊清水隊 後藤耕市
二圓	板垣兵團下河邊部隊清水隊 山岡勳三
一圓六十錢	京城府蓮仁町八九 矢野哲也

日計金 五圓六十錢也
累計金 四萬三千七百七十七圓八十五錢也

總計金十一萬八千六百四十六圓二十錢也

集團移民決まる

本年全南から滿洲に集團移民として移住を認められた戶數は既報の通り第一回分として四百十戶を割當たが今回更に二百戶を增加して羅南縣二名口に五〇戶、第二名口に八〇戶大北名に七〇戶を增加移住せしむることに決定、このほど手配方を全南知事に通牒した

北支に全農村

冀東、蘆台に決定 二千五百町買收

東拓では北支の新事態に即應し將來該地區内に鮮農を收容する目的を以て安全農村を建設するため水田經營の候補地を物色中であつたが、蘆台に三千五百町步を買收することに決定目下同社近藤技師並に本府の中西技師が現地に出張して買收交涉中である

三菱側の茂山開發進捗

三菱鑛業會社の茂山鐵鑛開發並に清津製鐵所（クルップ式）の建設は、本年より三ヶ年繼續の事業として着手し來月頃清津製鐵所は起工式を舉行する模様だが、茂山並に清津の兩工場を合せ二千八百萬圓見當の豫算で東京で某組と契約をなしたとの事で、愈よ茂山鐵鑛の開發は日本製鐵より一歩先きに三菱が着手する譯である

十二年中の北支輸出高

昭和十二年中の北支向輸出高を見ると關東州へ二千六十一萬三千餘圓に及び、昭和十年に比し千二百六十萬四千餘圓を激增し、北支向輸出は十二年中三百五十九萬一千餘圓で、十年に比し百三十三萬圓の增を示し、北支の明朗化と共に本年はさらに激增するものと豫想される

米實收高

【東京電話】昭和十二年米收穫高岩手縣外十一縣分（第一次公表）（單位石）

一八、〇七九、六三六

第二回豫想收穫高に比し

增 一八三、一二六

前年收穫高に比し減二七四、三一八

過去五ヶ年間平均收穫高に比し

增 一、五二一、五〇九

京城鐵工組合に四萬圓を補助

京城鐵工組合では本年度から平壤兵器製造所製品の下請を行ふこととなり、組合の强化を圖るため今回四萬圓の補助金が（道府各一萬四千圓組合一萬二千圓）が決定、之れを實施に移すべく割當金が略々左の如く決定した

その細部の内譯は道及び府が各四千圓を負擔し指導職工三名の一年分の給料に充當、殘る三萬二千圓は設備費、工場敷地購入費、工場建設費（共同作業所）機械購入費等でこれが完成後指導職工が北鮮作業を巡回指導することゝなつてゐる

米穀關係の新規事項内容

十三年度總督府豫算の中米穀關係新規增加額として現はれたものは時局關係と十二年度の米穀評價がらめぼしきものなく米穀檢査費十四萬三千七百圓、臨時米穀移出統制費六十六萬三千圓に過ぎないが米穀檢査經費は職員の增員と新に行はれる米穀檢査の費用を含み、臨時米穀移出統制費は社還米四十五萬石に對する補助十七萬三千圓及出廻期に於ける籾貯藏資金七十萬石當り三十錢の補助費であるから一石當り本年は强制的貯藏に鑑み然して本年は强制的貯藏に對するのみに限ることとした、一方米穀自治管理に要する補助費五百三十九萬四千餘圓が減額となつてゐるため來年度に於ける自治管理運動を豫想せざるやの疑問を生じてゐる向きもあるが、之は自治管理經費はその發動の場合に於てのみ必要であり、不發動の場合は豫算外項流用禁止の原則上總督府としては豫算編成技術上不得策なりとの建前から、豫算外に之を計上したもので、實質上特別の變化はないわけである

夕刊後の市況

◇…大阪短期引際氣配

大新	九三、〇〇	不變	
新東	一六五、三〇	一〇高	
鐘紡	二七二、三〇	二〇高	
滿重	八四、〇〇	不變	

◇…福井人絹後場引

富 七二、一〇 先 七五、四〇

◇…橫濱生糸後場引

當六七八、〇〇 先六八三、〇〇

◇…朝取短期後場引

	引	高	安
朝取	四〇一		
朝新	三五九	三六二	三五八
鐘紡	二七〇七	二七三三	二七〇五
新東	一六五〇	一六六六	一六五〇
大新	九三〇	九三七	九三〇
滿重	八四八	八四四	八四八
同新	八三〇	八三〇	八三〇
拓新	二〇	一三〇	一三〇
朝鐵	三二九	三二九	三二九